

2026 日本語教育国際研究大会（ICJLE2026）大学院生助成金

応募要項

1. 2026 日本語教育国際研究大会（ICJLE2026）大学院生助成金とは

一般社団法人尚友倶楽部の助成を受け、2026 年 11 月に開催される「2026 日本語教育国際研究大会（以下、ICJLE2026）」に参加し、発表する大学院生の会場までの交通費・宿泊費・参加費の一部を支援するプログラムです。本助成金の運営は公益社団法人日本語教育学会国際連携委員会が担当しています。

2. 本助成金の趣旨

本助成金は、次世代の日本語教育・日本研究を担う大学院生が、国際的な学術交流の場である ICJLE2026 に積極的に参加し、成果発表および研究者間ネットワークの構築を行うことを奨励・支援することを目的としています。助成金受給者は、大会 1 日目に開催される大学院生ワークショップへの参加を必須とし、大学院生同士および研究者との交流を図るものとします。

3. 応募資格

以下の項目のすべてに該当する方が対象です。

- ・ ICJLE2026 開催時（2026 年 11 月 20 日（金）～ 11 月 22 日（日））に大学院（修士課程・博士課程問わず）に在籍し、日本語教育・日本研究分野を専門としていること。ただし研究生は助成の対象にはならない。
- ・ 居住する国・地域は問わない。
- ・ ICJLE2026 において、一般論文発表、ポスター発表、または教育実践発表に単独、もしくは筆頭発表者として申請し、採択が決定していること。パネル発表の発表者は本助成金の対象にはならない。

4. 助成対象・金額・採用人数

居住地域に基づき以下の通り区分し、会場までの交通費・宿泊費・参加費の一部として以下の額を助成します。なお、採用人数は応募状況により変動する場合があります。

a. 日本からの参加者	100,000 円	(10 名)
b. 台湾内からの参加者	50,000 円	(10 名)
c. アジア（日本・台湾以外）・大洋州からの参加者	100,000 円	(6 名)
d. a～c 以外の地域からの参加者	150,000 円	(4 名)

※助成金は参加費等の免除ではなく、ICJLE2026 開催後に指定口座への振り込み（立て替払い）となります。

※助成金額は円から現地通貨に換算して振り込みます。

※航空運賃・宿泊費・参加費に関しては後日領収書のコピーの提出（メール添付）を依頼します。

※助成金の送金手数料は日本語教育学会が負担しますが、受け取りの際に手数料が発生した場合は自己負担となります。

5. 助成条件

本助成の受給者は、ICJLE2026 にて開催される大学院生ワークショップへの参加が必須となります。あわせて、ICJLE2026 の開催期間（3 日間）を通して、各種研究発表を積極的に聴講するとともに、大学院生同士および研究者との交流に主体的に取り組むことを求めます。また、大会終了後に活動報告書および収支報告書を提出していただきます。

6. 申請受付期間

発表採択通知送付後 ～ 2026 年 5 月 6 日（水）、日本時間 23:59 まで

※ICJLE2026 実行委員会より発表採択通知（4 月 30 日までを予定）を受け取り次第、応募が可能となります。

7. 申請方法

申請フォーム（Google Form）より、以下の情報を入力・提出してください。

・提出項目：

- 氏名
- 現住所・居住地域カテゴリー（a-d）・国籍・地域
- 所属する大学院の情報（大学名・研究科・プログラム名等）・学籍番号
- 研究分野
- 指導教員名・指導教員連絡先（メールアドレス）
- ICJLE2026 審査結果通知（PDF を提出）
- 採択された発表のカテゴリー（一般論文発表、ポスター発表、教育実践発表）
- 採択された発表のタイトル
- 採択された発表の要旨（発表応募時と同じものを提出）
- 採択された発表の発表言語

・申請フォーム URL：<https://forms.gle/NVA1DvE7cGGU9v4s9>

8. 選考・採否の通知

- ・選考方法：

提出された要旨をもとに、複数の査読員による審査を行い、採用を決定します。

本助成金の審査は、ICJLE2026 で用いられている審査の観点と同じ観点で行いますが、特に展開の見通しという点について重視します。なお、審査基準の【別枠】に設けられている主題との接続に関しては、助成金の審査では対象外とします。

- ・結果通知：

2026 年 5 月 26 日（火）を目処に、応募者全員に日本語教育学会事務局からメールにて採否を通知します。

9. お問い合わせ

日本語教育学会 国際連携委員会

gn-nkg<@>nkg.or.jp